



DIGITAL ATHLETE

デジタルアスリート株式会社

審査対策提案資料



- 1.FX商材の表現の見直し**
- 2.Yahoo!配信の配信量強化**
- 3.表現やライティングのコンサルティング**
- 4.LPコンテンツの相談**

FX商材を「不動産投資」「株式の現物取引」「投資の知識一般」などの見せ方にする。

□背景

コンテンツ内で過度に煽らない限り、不動産投資、株式投資、一般的な投資全般の知識を教授する講座などに関しては、FX商材における媒体ポリシー「複雑な投機的金融商品」に該当しないことが多い。

そこで、無理にFXという見せ方をしなくても、投資に興味関心のある(つまり投資系有料商材を購入する見込みのある)ユーザー層にリーチして、彼らのニーズを満たすものであれば投資回収が可能と考えた。

□具体的施策

「サラリーマンのための投資講座」「主婦限定の投資講座」のように投資一般的な知識のオンラインレッスンという形で見せたり、

「不動産投資で失敗した方へ」「株式投資は難しそうだし、怖いな…と考えている、投資未経験者の皆様へ」のような訴求にして、

FXという見せ方はせずに投資に興味関心のあるユーザー層にリーチするコンテンツで集客を実行。

審査的障壁が低くかつ広告投資効果が高い 「Yahoo!広告」に予算を寄せて利益を着実に確保。

□背景

FX商材は、Google(及びYouTube)においては「差金決済取引」に該当してしまい、出稿することがそもそも出来ない。

うまく表現を変えて出稿したとしても、FXということが判明してしまうと「複雑な投機的金融商品」として不承認になってしまう。

しかし、現実的にYahoo!広告においてはFXと明記しても問題なく出稿ができる。よって、Yahoo!に予算を傾注することで着実な利益を確保できる見込みが高いため、提案を実行。

□具体的施策

Yahoo!において、FX表記で審査に落とされることは非常に少ないため、積極的にFX表記を行う。

この際、「pips」や「AUDJPY」などのFXで使用する用語も積極的に使用する。

ただし、過度に煽る表現(確実に誰でも儲かる、など)を使用すると、「誤解を招く表現」などの別のポリシー違反に引っ掛かってしまうため、それらの基準についてはGoogleやFacebookなどと同じ基準で対策をする。

LPの審査抵触する可能性がある部分すべての添削を行う。

□背景

媒体上で審査抵触があった際に、都度媒体からの指摘箇所を修正を行っていた。

しかし、修正したあとも別の箇所で抵触したりと審査通過するまでに時間がかかっていた。

そのため、予め抵触しそうな箇所をドキュメント上でまとめ、さらに修正のやりとりもドキュメント上で行うことで工数削減を実現し最短での配信を可能にできる。

□実施例

【単語編】

稼ぐ→ 成果を出す、達成するへ変更 など

利益→ 成果、結果へ変更 など

お金→ 資産へ変更 など

月収、年収→ 月、年へ変更 など

【背景編】

背景や画像に「貨幣、紙幣、お札の額面など」のクリエイティブがある場合は別のものへ変更 など。

「FXではない表現」をすることに加えてLP自体を短くする。

□背景

投資商材の内容や金融情勢の説明など、どうしても説明が長くなってしまいがちなので、そのプロセスで審査に抵触するリスクが増える。

また、デザイン的にも情報商材の雰囲気が出てきてしまうことも多々あるため、LPの長さや審査リスクは比例関係になることが多い。

よって、短いLPであればそれらのリスクが最小限になるため、コンテンツの短縮化を提案。

□具体的施策

スクロール数回で見終えることができる超短LPを作成。

その際に、通常のLPのように「ファーストビューの直下にCTA」という構成ではなく、「キャッチコピー、実績、簡単な紹介、CTA」などのような流れで終わる構図にして、LP全体を見てもらいつつ、アクションに繋がりにやすくなるよう設計。



DIGITAL ATHLETE

デジタルアスリート株式会社

“すべての挑戦をさらなる高みへ”